【TOKYO PACK 2021 セミナー報告】

◆ 2月 25日に当会にてセミナーを開催しました。

PTOKYO PACK 2021

https://www.tokyo-pack.jp/seminar/seminar05.php

2021年2月24日水~26日金 10:00~17:00 東京ビッグサイト 西1~4ホール 南1~2ホール

未来を拓くTOKYO PACK セミナー

無料

より良い未来の実現に貢献する包装の最新技術を全13セッションでご紹介。

国立環境研究所 × 滝沢秀一 × 日本包装専士会プレゼンツ 持続可能な社会に向けて容器包装プラスチックごみのリサイクルを考える

日本包装専士会はTOKYO PACK 2018に「2030年包装の未来予測」を発表し、その後もSDGsに対応する容器包装のあるべき姿を継続して探求。今回、前半に国立環境研究所で都市ごみ研究の最前線を行く稲葉氏と、芸人でありごみ清掃員として自治体ごみ回収現場の最前線で身体を張る滝沢氏のセミナーを展開。稲葉氏は資源循環型社会の実現に向けて3Rを推進する技術・社会システム構築の研究から、未来に望ましいプラスチック容器包装のマテリアルフローを提示。環境へのインパクトを含めた具体的シナリオをアカデミックに解説する。滝沢氏は生活者がごみ排出のモラルを守ること、容器包装設計者がごみ減量・易リサイクルに繋がる技術開発を推進することなど、大事な事柄を切れ味鋭い笑いネタに変換しながら、洒落を交えて小気味よく伝える。後半は当会とともに、可燃ごみに捨てられるプラスチック資源ごみの、より良い回収方法や再資源化についてのトークを展開。資源循環社会へ向かう容器包装の望ましい形、より良い資源回収のあり方を議論する。

開催日

2月25日(木)

時間

10:30~12:00

開催場所

西2ホール 特設ステージ



講師・稲葉 陸大 氏

国立研究開発法人 国立環境研究所 | 資源循環・廃棄物研究センター 循環型 社会システム研究室

国立環境研究所

廃棄物の研究



講師:マシンガンズ 滝沢 秀一 氏

環境省「サステナビリティ広報大使」・お笑い芸人・ごみ研究家



講師:橋本 香奈 氏(大和製罐株式会社) 日本包装専士会 未来包装研究委員会



講師:北島 誠之 氏 (出光ユニテック株式会社) 日本包装専士会 未来包装研究委員会

◆ 日報ビジネス株式会社発行「包装タイムス」紙に、3 回にわたりセミナーの取材記事を掲載いただきました。



トークショーの様子

完データを示 ・ 過去の研 を専門とする



と 包装業界が進む 8では している。 サイクル」を切り口 ク資源一括回収とリ 1では、「プラスチッ 0 0 の内容を紹介する。 全3回にわたってそ る。 発表。それ以降も、 包装の未来予測」 に講演とトークショ べき方向を示してい を企画。本紙では PAUK NOT 1人目の登壇者 PAUK 200 先般のTOK〉 包装業界が進む 0 「NOMO TOK> 0



般廃棄物(一

廃)と産業廃

それぞれに含

イクル効果に言及。

異業種交流で理想を実現

一廃と産廃のプラ回収を解説

専 士 会装

状と課題を解説し と述べた。 果的な対策が必要 果になった。より効 来の対策を拡張した 率は高い。また、従 少ない方が循環利用 クリサイクルの まれるプラスチッ ら、排出量の現状を 5県を比較しなが 厳しいという予測結 延長では、循環利用 大きい」とし、リサ る主要産業の影響が すると従来の対策の プラスチックのリサ イクル率の高い上位 ては「各地域が有す 学の目標値の達成は 値環利用率は高くな リサイクル率の関係 ナリオではさらに だが全国で集計 一方、産廃につい 「人口が

交流を進め、 呼び掛けた。 みを構築すべき」 などを通じて適切に 生物による炭素循環 リサイクル、そして 物素材化、リユース 装プラスチックが生 革新が必要。 実現に向け、 かの検証を始めたこ 削減につながるか否 合的にエネルギー量 いる。その成果とし 究活動に取り組んで 情報交換を行い、 り日本包装専士会と 要がある」と力を込 る。 ル対策では限界があ だが現状のリサイク ルギー効率が高い 出量は少なく、 クルの方がCO2 循環利用される仕組 とを発表。「理想の プロセスでのリサイ 易解体容器が総 早急に見直す必 異業種 19年よ 研



記事中オリジナル写真掲載

国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室 主任研究員 博士(工学) 稲葉陸太氏

写真ご提供 日報ビジネス株式会社 「包装タイムス」

日頃、滝沢氏が感じ で提示しながら、常 介。講演では、ごみ 氏の講演内容を紹 今号では、2人目の をテンボの良い語り る容器包装プラスチ 集積所の様子を写真 笑い芸人、滝沢秀 ティ広報大使」など 登壇者で、ごみ清掃 マルチに活躍するお 境省「サステナビリ 貝やごみ研究家、環 連載2回目となる

> ごみが少ないとする 街の場合、そもそも 状を紹介。高級住宅 って変わるごみの現

方、「一般住宅街

ではごみの量が多



い」と述べた。 る』といった心理の が何とかしてくれ 真を提示。「『清掃員 に放置されている宮 のままの分別されず ETボトル飲料がそ は、中身の入ったP 内のスクリーンに る人の多さだ。会場 が強調したことは 働きがいまだに根強 箱」と勘違いしてい 「ごみ集積所=ごみ 続いて、地域によ 講演冒頭、

ごみ清掃芸人滝沢氏が登壇

複雑な分別ルールの現状を解説

外装の袋は容器包

できていない」とし

ストローを事例に

装だが、本体は別。

専 士 会装

しのルールが消費者 pect (リスペク

講演する滝沢氏

う雑貨類をはじめ、 ファストファッショ

プで購入したである

100円ショッ

ず、創造性を 発を提唱。プ 分別に取り組 持ってごみの ラごみに限ら ト)」を含めた もうと訴え 「4R」の啓

いて、 る。お金を出してご ない」と力を込め 言っても過言では みを買っていると 捨てられる傾向にあ ンブランドの衣類が な分別ルールを理解 んどの消費者が正確 次にプラスチック 一恐らくほと

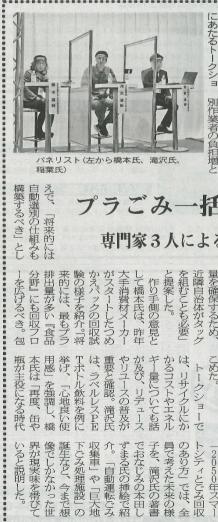
別ルールがシンプル回収」について、「分 と説明した。 姿勢を示した。 響も心配」と慎重な すリサイクルへの影 など複合材料が及ぼ 加。レトルトパウチ 掃員やリサイクラー になるとはいえ、清 スチックごみの 進める「家庭系プラ への作業負担は増 最後に、「Res 一方、現在政府が 一括



記事中オリジナル写真掲載

ごみ清掃員、ごみ研究家 環境省「サステナビリティ広報大使」 お笑い芸人 マシンガンズ 滝沢秀一氏

2021年3月22日号



パネリスト(左から橋本氏、 稲葉氏)

では講演の後半部分 3回にわたって紹介 会のセミナー模様を われた日本包装専士 する連載企画。本号 UK 2021で行 TOKYO PA

収」。滝沢氏は、 議論した。 家庭系プラー括回 最初のテーマは \Diamond

ートが未整備であ



それぞれの立場から 会の橋本香奈副会長 使」)、日本包装専士 テナビリティ広報大 芸人、環境省「サス 沢秀一氏(ごみ清掃 立環境研究所)と滝 る。稲葉陸太氏 パネリストとして、 佐(大和製罐)を -の様子を紹介す 国

専 士 会

複合材料の扱い」に 様の意見を述べたう 言及し、橋本氏も同

が到来する」と述べ

いをどうするのか、 そのほか危険物の扱 は熟していない。リ ナウムイオン電池や の意見を国に伝え 沢氏には、ぜひ現 稲葉氏も、「議論

プラー括回収と品 題や課題は、技術進 めることが必要。問 は実装し、一定量集 と語った。 を組み、技術開発を 収とリサイクルの今 化が解決してくれ 後について、「まず 進めることが大事」 装業界全体がタッグ さらにプラー括回

杞憂に過ぎなかっ あの時の不安って、 る。『2021年の ていきたい」と返し に分かりやすく伝え 生活者と業界関係者 頼。「研究者として、 避と、プラ分別の拡 れば」と稲葉氏に依 裏付けとなるデータ 対策に貢献するか、 大がどれほど温暖化 をぜひ開示いただけ このほか橋本氏 焼却処分の回

述べた。

いただければ」



記事中オリジナル写真掲載

パネルトークの様子 (左から橋本、滝沢氏、稲葉氏、司会 北島)



(左から橋本、北島)

3 枚写真ご提供 日報ビジネス株式会社 「包装タイムス」

構築するべき」とし 自動選別の仕組みも 「将来的には

括回収を議論

専門家3人によるパネルト

こめた。

がくれば」と期待を た』と笑って話す時

るべき。ある一定の 近隣自治体がタッグ 量を確保するため、 る素材に焦点を当て 質保持の関係につい を組むことも必要 と提案した。 和葉氏は、「回収

は、リサイクルにか

トークショーで

ーを広げるべき。包 分野』にも回収フロ 排出量が多い『食品 来的には、最もプラ 験の様子を紹介。将 かえパックの回収試 がスタートしたつめ して橋本氏は、昨年 **八手消費材メーカー** 作り手側の意見と

やリユースの普及が

用感」を強調し、 挙げ、「心地良い使 Tボトル飲料を例に 瓶が主役になる時代 は、ラベルレスPE 本氏は「再度、缶や 要と確認。滝沢氏

いると説明した。

下ごみ処理施設」の 収集車」や「巨大地 子を、滝沢氏の著書 誕生など、今まで想 でおなじみの本田し 員で考えた未来の様 のあり方」では、全 界が現実味を帯びて 像でしかなかった世 介。「自動運転ごみ トシティとごみ回収 すまる氏の挿絵で紹 -2050年スマー 二つ目のテーマ

が及び、リデュース ギー量についても話 かるコストやエネル

2021年3月29日号